

歯を守るための公開講座

第5回

もう一度自分の歯のように

- 入れ歯や人工歯根、歯をなくした場合の
最新治療法 -



予防管理中心型歯科医療が目指すもの

病気の生じる原因に対応する事で、
新たな問題の発生をおさえ、
長期に渡り健康な状態を維持していこうと
いう考え方です。

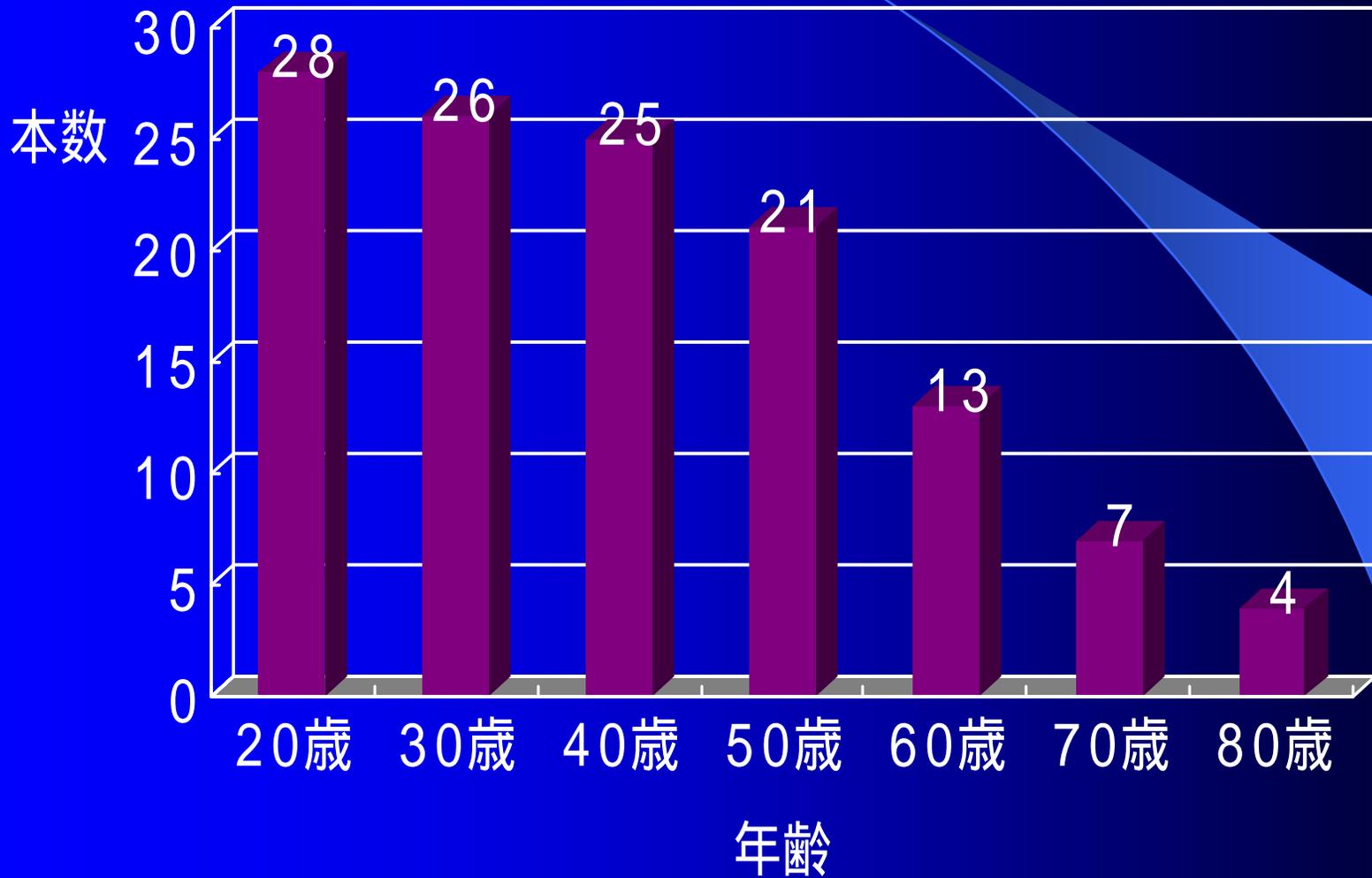
そしてお口の健康を良好な状態で維持する
事により得られる
「豊かな生活」を守っていく事です。



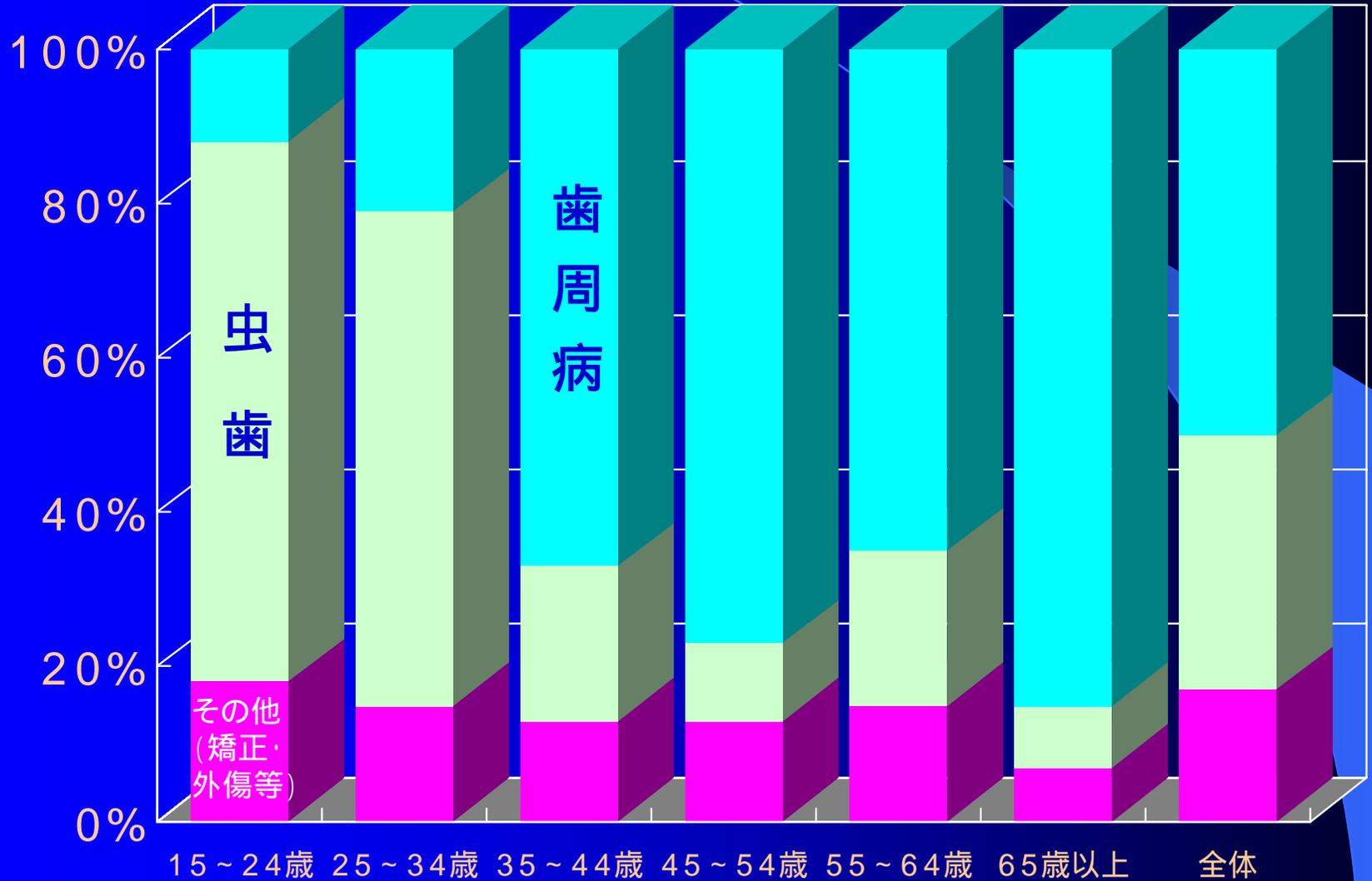
日本人の口の現状



年齢と歯の数



歯の抜ける原因



8020(ハチマルニイマル)運動

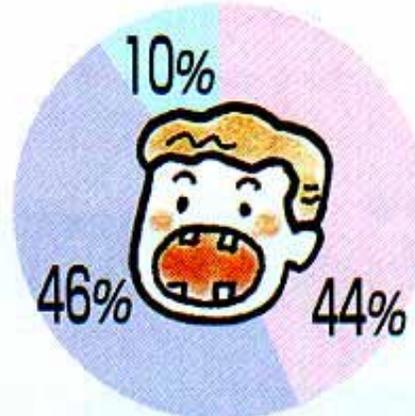


歯の数による咬み具合

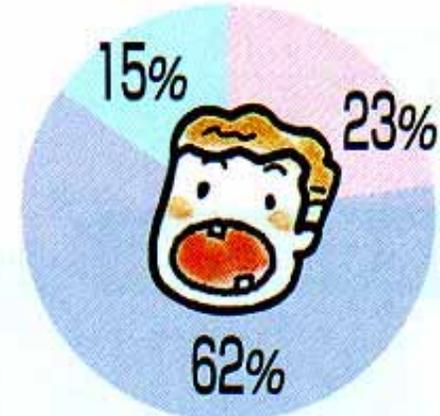
歯の数によるかみ具合 (新庄ら 1986)



21本以上



11~20本



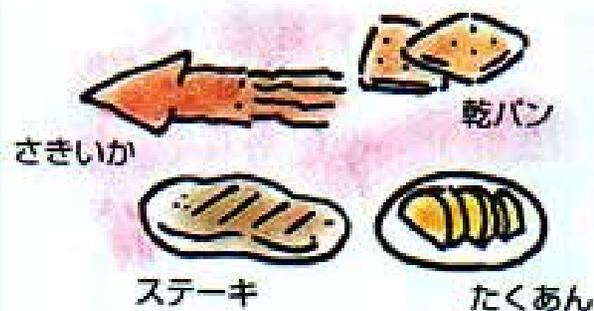
1~10本

- なんでもかめる
- かめないものがある
- あまりかめない

歯が20本あれば食べたいものが食べられる

歯の本数による食べられるものの目安

21本以上



11~20本



1~10本



予防型歯科医療の社会への寄与の可能性

実年齢

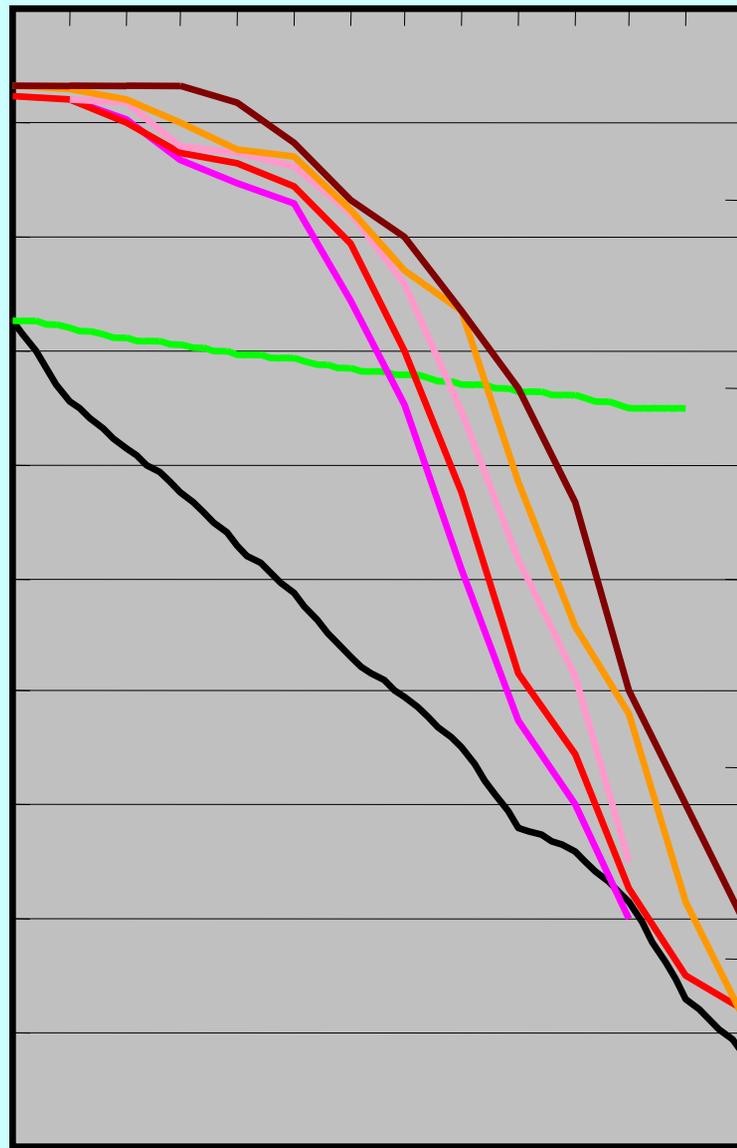
15歳 25歳 35歳 45歳 55歳 65歳 75歳

デンタルエージ・オ

残存歯数・本

30
25
20
15
10
5
0

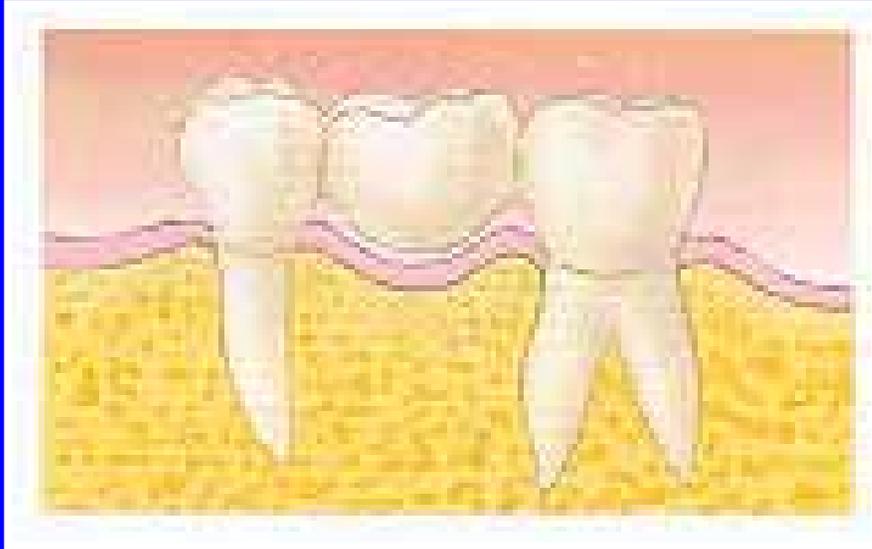
- 平均デンタルエージ 日本人の一生を通じての悪化傾向
- 予防型歯科医療による健康保持の実績
- 残存歯数 日本人の歯のなくし方(厚生省調査1975年)
- 同:1981年
- 同:1987年
- 同:1993年
- 同:1999年



歯をなくした場合の基本的な治療方法



ブリッジ



部分入れ歯 バネつき(クラスプ)



部分入れ歯

連結部ボタンつき(アタッチメント)



部分入れ歯 王冠タイプ(コーヌス)



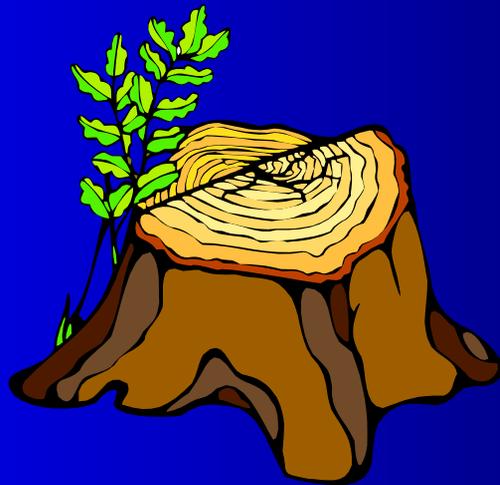
総入れ歯



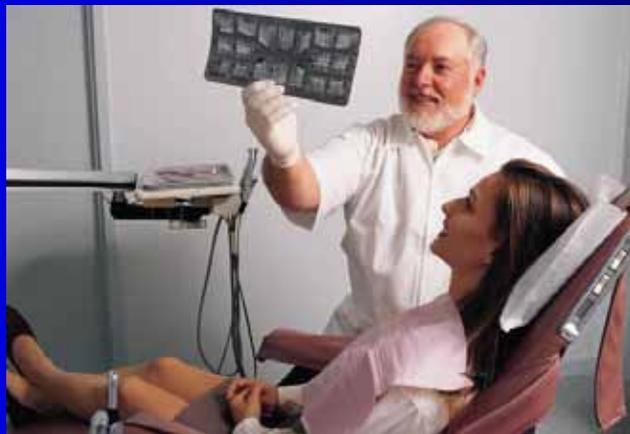
人工歯根(インプラント)



インプラント(人工歯根)

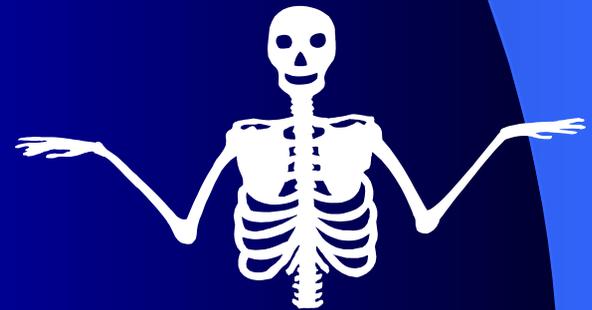


治療の手順

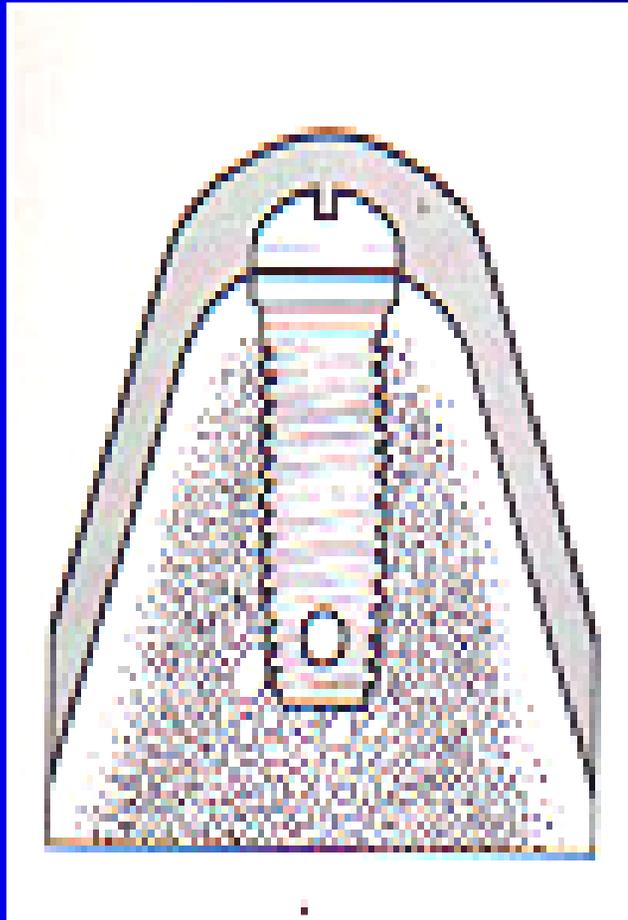


骨の量と幅を測る検査

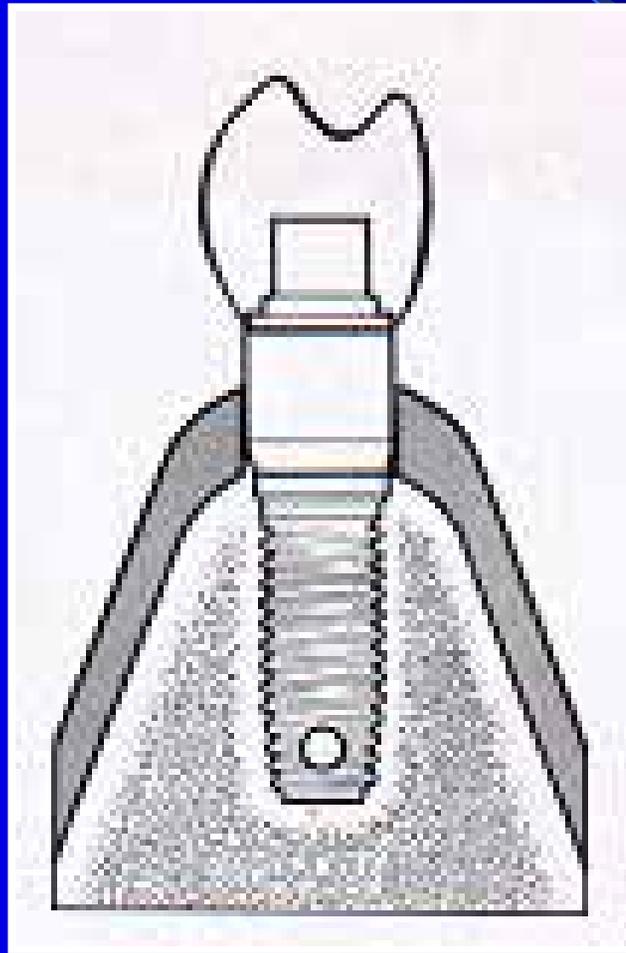
- インプラント治療をするには
インプラントを十分に支える骨が必要です
- レントゲン写真や歯型の模型を作成し
インプラントを選択します



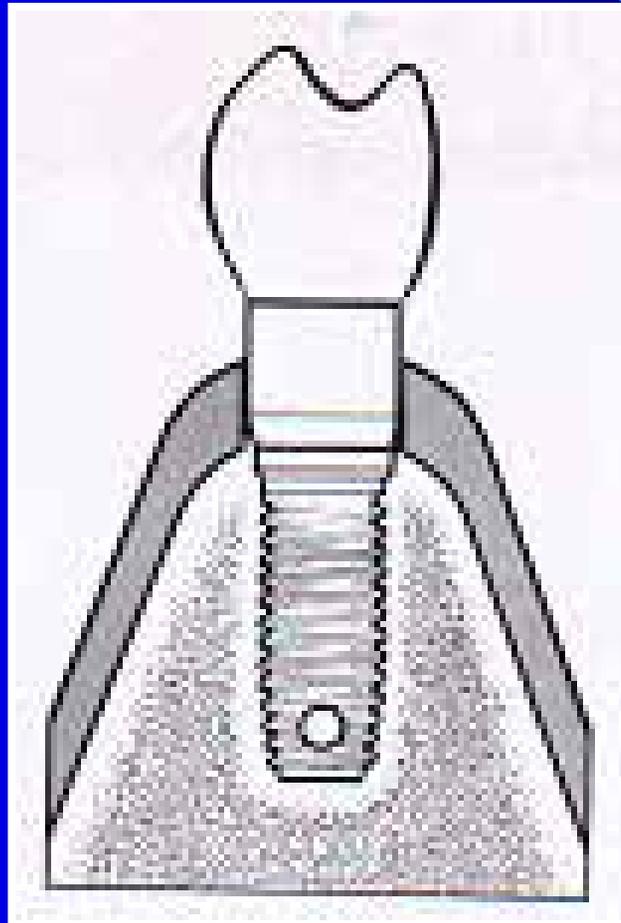
インプラント体を埋め込む



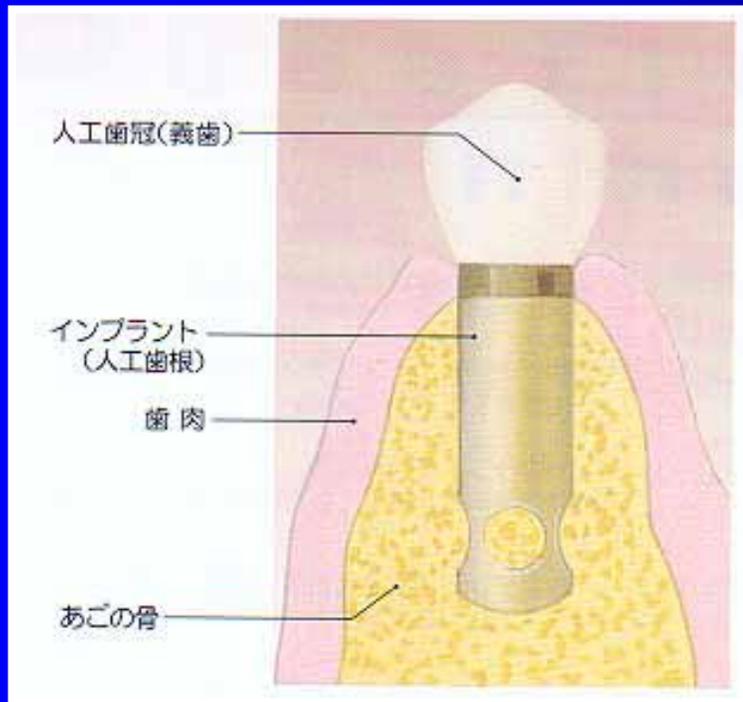
骨と結合している事を確認後、
土台をたて、仮歯を装着する



人工歯を製作し装着



適応症と禁忌症



- 十分な骨がある
- 手入れができる
- 全身病がない

失った歯の状態に応じた治療の方法



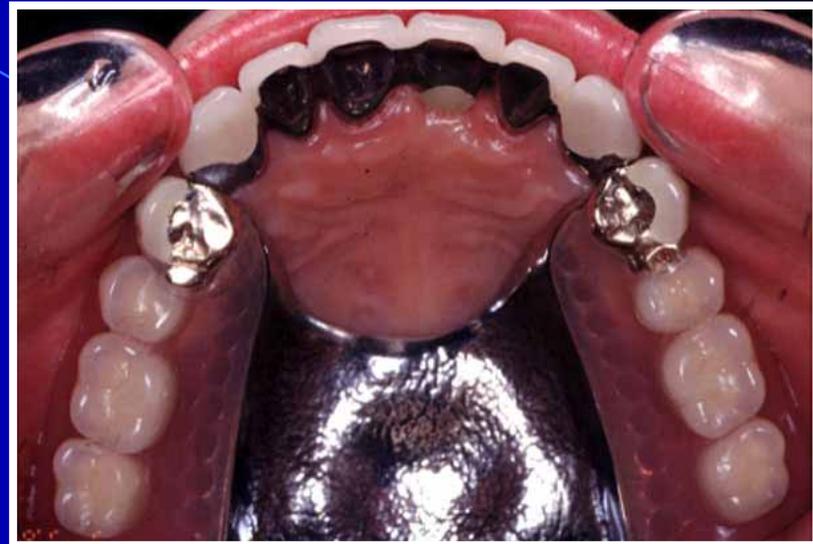
見た目も美しく、しっかりとかめるように
人工歯根を使った症例



治療前



治療後



入れ歯のばねを見せないで、自然に見せる方法



入れ歯のばねは
残っている歯をくぎ抜きで抜くように傷めてしまいます。

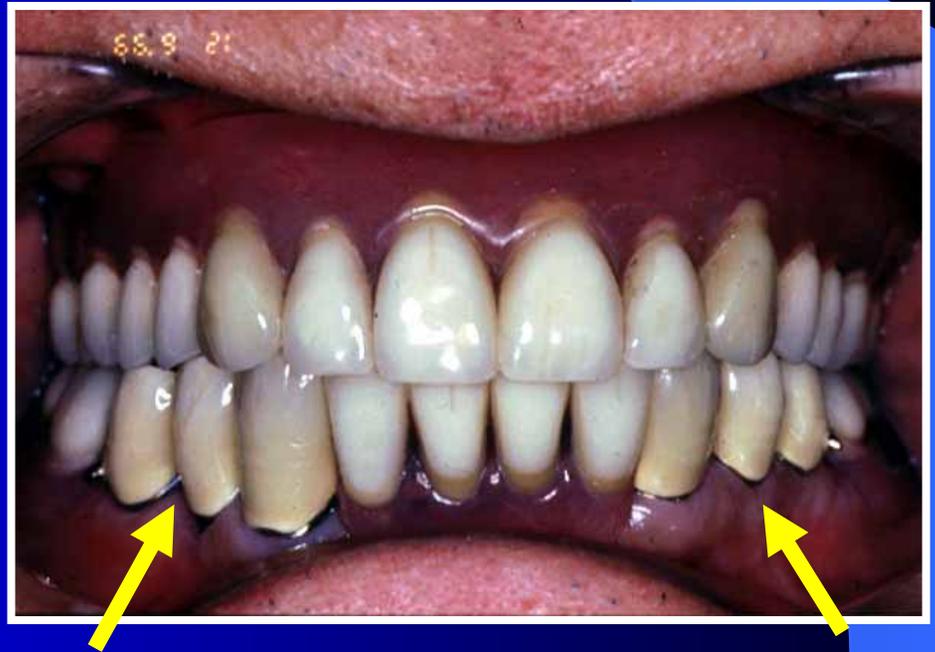




入れ歯の王様

歯周病や虫歯で
傷んだ歯でも、
全体のバランスを考え、
お互いが助け合うように
設計すれば
まだまだ使えます。

「コーヌス」と呼ばれる
入れ歯は、入れ歯の作り方の
中でも最もよく咬める
入れ歯です。



コーヌス入れ歯の仕組み

残っている歯にキャップを被せ、入れ歯に組み込まれたかぶせで被いかぶせています。



歯がある人は
お互いが助け合うことで
入れ歯を使わずに
治すこともできます。

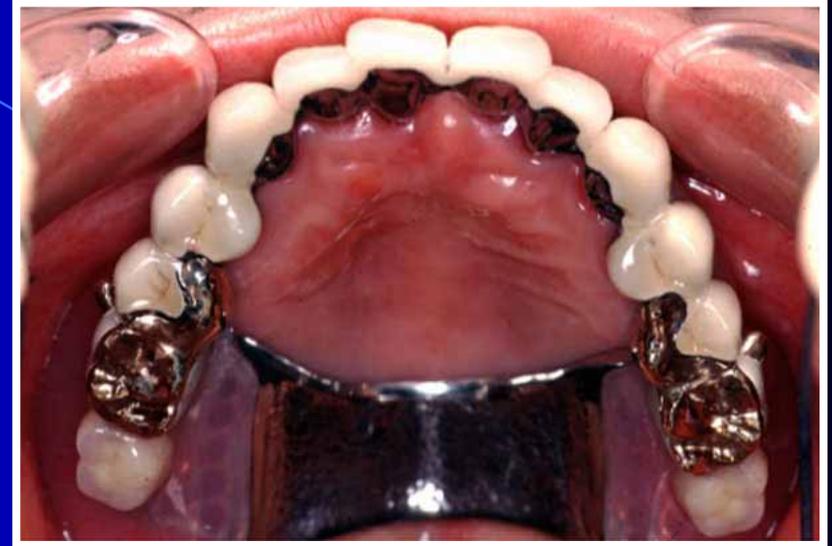


歯周病と入れ歯治療の 組み合わせ

歯周病が進行すると
歯の位置が動いてきます。
時には口が
うまくふさがらないような
出っ歯の感じに
なってしまいます。

矯正治療で
治すこともできますが
被せを使った治療法が
期間も短く
年齢が進んだ方には
有効です。





口元の美しさは
自然な感じと
健康な歯ぐきで決まります

歯がない状態を放置すると
残った歯は相手を探して
伸び出してしまいます。

特に片側だけ歯がない場合は
治療が難しくなります。

残っている歯とのバランスを
整えなおし、しっかりと入れ歯を
支える細工を施し、
入れ歯を固定します。

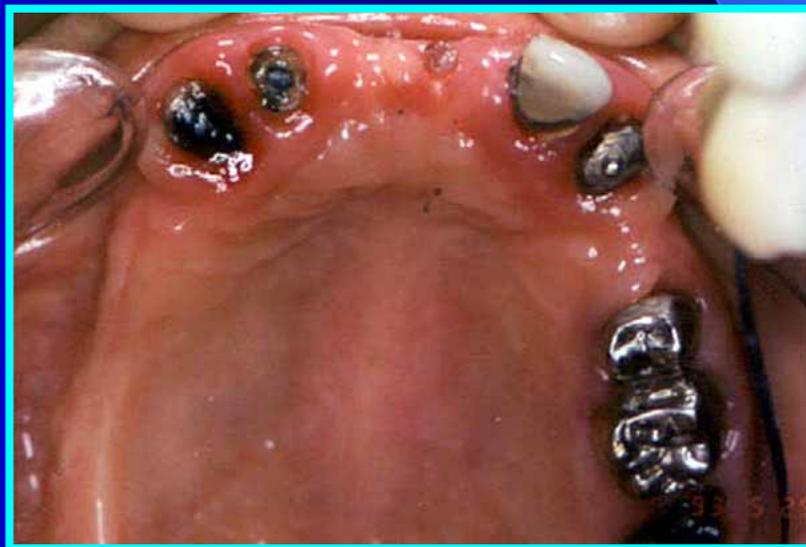
このことで、違和感の少ない
自分の歯のような状態を
回復できます。



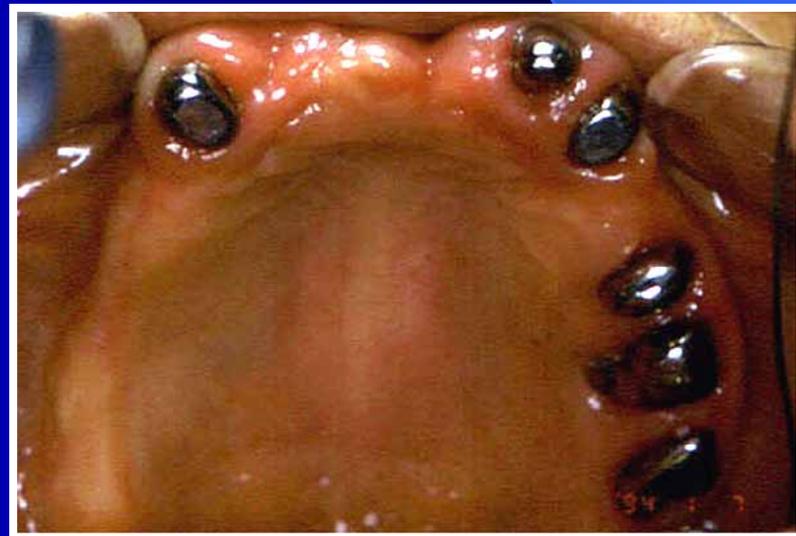
残っている歯の数が少ないときはこんな細工もできます



かなり傷みの激しい歯も、使い方次第で活躍します



傷んだ歯に磁石を取り付け、入れ歯を固定しました



安定し、長持ちする歯を作る条件



安定し、長持ちする歯を作る条件

1. 支えとなる歯の条件
2. かみ合わせの力を支える基本設計の選択
3. かみ合わせの平面を整える
4. かみ合わせの高さを整える
5. 歯の周りの組織との調和を考える
6. 発音のしやすさを考える
7. 自然な感じで作る
8. 掃除がしやすい



歯を長持ちさせるために (管理とメンテナンス)

- 支えとなる歯を守る(虫歯、歯周病の予防)
- かみ合わせを調整する
- 粘膜面を定期的に修正する
- 人工歯を取り替える
- 食事を整え、全身の健康を維持する
- 義歯の手入れを怠らない



これからの予定



* 第6回 3月24日

信頼できる歯医者さんを探そう

ホームドクターの探し方、付き合い方

* 4月以降の予定

公開講座は5月から再開します。予定の内容は

- ・ 日常に生かそうカウンセリング
- ・ 歯科での感染予防対策
- ・ 子供の虫歯
- ・ 矯正治療について など